

安全上のご注意

警告

- 煙が出ていたり、変な臭いが出るときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落したり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するときには、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。
- 閉め切った自動車内・ストープなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を動作させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストープのそばなどに置くと、火災・感電の原因になることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となる場合があります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因になることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のACアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- ACアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーについて

- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にしてください。電極(＋端子と－端子)に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

免責事項について

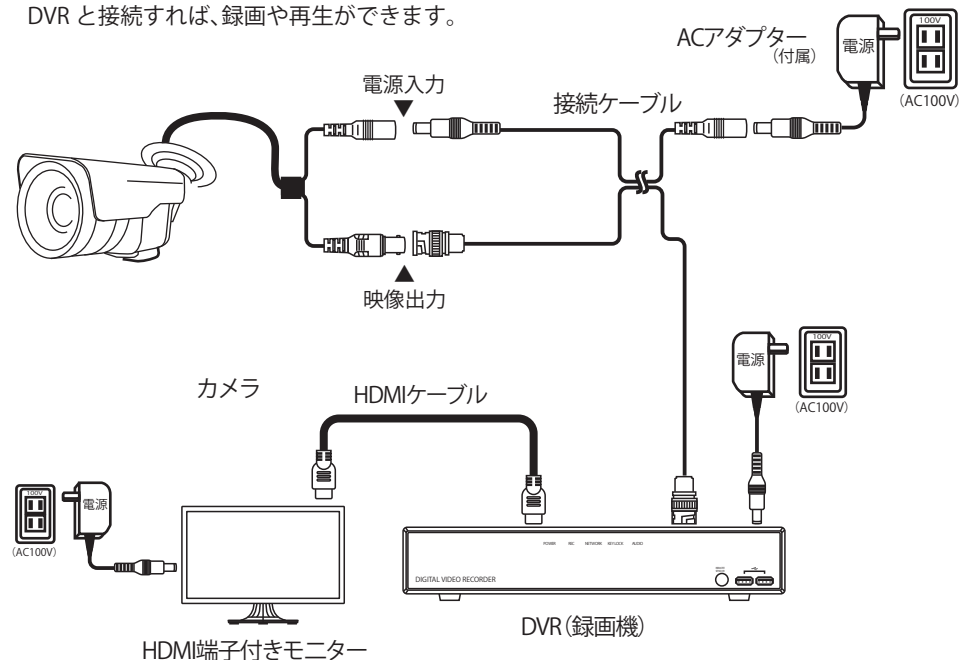
- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の誤作動・故障により発生した事故・トラブルに関して弊社及び販売店は一切の責任を負いかねます。

※本製品に該当しない内容も含まれることがあります

1 接続例

DVR (録画機) へ接続する場合

DVR と接続すれば、録画や再生ができます。



※ 本製品は、500万画素カメラです。
レコーダーやコンバーターは500万画素対応の機器を使用してください。

2 レンズ調整

本体底面に、調整ネジがついておりますので、調整を行って下さい。

レンズ側…ピント調整
基台側…ズーム調整

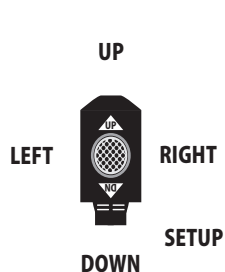
※注意※

- 調整ネジは、ゆっくりと回してください。
両端に回し切ると固くて回らなくなりますが、無理に回すとギアが壊れて調整が効かなくなりますのでご注意ください。



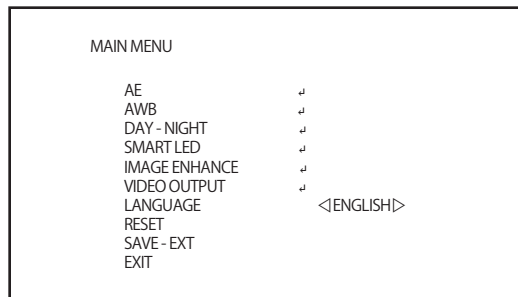
3 メニュー設定

ジョイスティック操作にてOSDメニューを操作、カメラの各設定が行なえます



- SETUP : 押すとメニューが表示されます/決定
- UP : 長押しでAHDモードへ切り替わります/上移動
- RIGHT : 長押しでCVBSモードへ切り替わります/右移動
- LEFT : 長押しでTVIモードへ切り替わります/左移動
- DOWN : 長押しでCVIモードへ切り替わります/下移動

※本製品は500万画素カメラです
レコーダーやコンバーターは500万画素対応の機器を、
またアナログ・CVI・TVI出力モードをご利用になられる
場合はそれぞれの信号に対応した機器をご使用ください



AE

映像の露出(明るさ)に関する設定が行なえます

BRIGHTNESS : 映像の明るさ調節

EXPOSURE MODE : GLOBE,BLC

BLC : 逆光状態で被写体の明暗部分を自然な明るさに調整

AWB

ホワイトバランス調整
ATWでご使用ください

DAY-NIGHT

本製品はEXTでご使用ください

SMART LED

本製品はAUTOでご使用ください

IMAGE ENHANCE

コントラストなどの調整が行なえます

CONTRAST : コントラスト調整

SHARPNESS : シャープネス調整

COLOR GAIN : カラーゲイン調整

DNR : ノイズ調整

MIRROR : 左右反転機能

D-WDR : 逆光状態で被写体の明暗部分を自然な明るさに調整

VIDEO OUTPUT

映像出力解像度の変更ができます

HD : AHD、TVI、CVI、CVBSから選択できます

VIDEO STANDARD : 5MP 20FPS、5MP 12.5FPS

4MP 30FPS、4MP 25FPS、4MP 15FPS

1080P 30FPS、1080P 25FPS

REBOOT & APPLY : 解像度や出力形式を変更した時に

この項目で決定します

何も変更しない場合は表示されません

※カメラ解像度を400万画素、200万画素設定で出力する場合、
メニュー操作にて設定変更が必要となります
まず500万画素対応のレコーダーにて解像度を変更操作してから
400万画素、200万画素のレコーダーなどに接続してください

LANGUAGE

言語設定が行なえます

RESET

設定内容を初期に戻して終了します

SAVE-EXIT

設定内容を保存して終了します

EXIT

設定内容を保存せずに終了します